Vol. ５４１ 令和元年 11 月

ハマ発明 NEWS

NPO 法人 横浜発明振興会

今　月　の　行　事

第 612 回 ハマ発明教室

と　き　令和元年１１月１０日（日）
　　ＰＭ　１：００～４：３０
ところ　関内駅前ホール（加瀬の貸し会議室）
横浜市中区尾上町 4-56-2 加瀬ビル 154 4 階
※７月から使用している会場です。建物には「関内駅前ホール」の表記はありません。

1. 作品発表とディスカッション、発明の卵
2. 発明研究会
「私の発明成功体験談（トウモロコシ粒取り名人、 他）」講師：発明学会会員
宇都宮アイデアクラブ会長
藤田 博昭 氏
3. 発表作品表彰、お知らせ、その他

１２月のハマ発明教室　予告

と　き　令和元年１２月８日（日）
　　ＰＭ　１：００～４：３０
ところ　関内駅前ホール（加瀬の貸し会議室）
横浜市中区尾上町 4-56-2 加瀬ビル 154 4 階

1. 作品発表とディスカッション
2. 発明研究会　テーマ 未定
3. 発表作品表彰、お知らせ、その他

○アイデアを生み出すには質より量

アイデアについて色々と考えてしまう時は、たいてい「良いアイデア」や「すごいアイデア」を生み出そうとしています。

アイデアを出せないという悩みを持つ人共通点は、「すごいアイデア」を出そうとしてしまっていることです。でも、「すごいアイデア」を出している人は、その何倍も「すごくないアイデア」を出しています。だからまずは「すごくないアイデア」をたくさん出すところから始めるべきなのです。

会議でよく行なわれるブレインストーミングも質より量を求めています。誰かが出した意見を否定せず、乗っかって進めていくのがブレストの特徴です。例えば

「1 週間後にアイデアを１つ考えてこい」と言われた場合と、「明日までにアイデアを 10 個考えてこい」と言われた場合だと、後者の方がポンポンアイデアが出てきませんか？

あれだけたった１つのアイデアを生み出すために苦労していたのに、アイデアの数が 10 個になった途端、スラスラ出てきます。「アイデアの作り方」という古くから読まれている本では、アイデアをこう定義しています。

アイデアとは既存の要素の新しい組み合わせ以外の何ものでもない。

つまり量が多ければ多いほど、質の高いアイデアが生まれやすいのです。

「アイデア発想法」より引用

＝＝＝＝＝＝＝＝も　く　じ＝＝＝＝＝＝＝＝

研究会・講演の案内 ・・・・・・・・・・・・1
情報提供、お知らせ、・・・・・・・・・・１，２，３，４

○寺嶋会長インタビュー

一昨年５月に会長に就任されて以来、会について感じておられることなどを寺嶋会長に伺いました。（聞き手・小峰、山岸）

［入会してから会長就任まで］

知財に関することがわかったらいいなと思って、ずっと法人会員でいたわけですけれど、どういう活動をしているかはよく知りませんでした。2014年６月に地域貢献の賞（「横浜市環境活動賞」企業の部 大賞）を受賞したこともあって、翌年２月に教室で講演を依頼され、初めて会の活動を目の当たりにしました。

［2017年会長就任］

会長に就任して最初に行なわれた総会で、出席した会員の皆様が一生懸命、意見や要望を述べていたのが印象的でした。組織というのはいろいろ問題があるわけで、この会もあるだろうし、そういうことで少しでもお役に立てればと思いました。その総会でＮＰＯ法人になることが決まったわけですが、ＮＰＯ法人になるとメリットもあるけれど、いろいろやらなければならないこともあって仕事量は増える。それは、仕事のやり方を変えていったり、事務局だけでやるのではなくて、役員や会員で役割を分担して行かなければならない。

いろいろな計画は、立てるのは立てられるわけですが、それをどうやって実行に移していくかということを書き込んで行かないと絵に描いた餅になってしまいます。それともうひとつ大事なことは、実行したあとにフィードバックするということですね。問題点は問題点として次の改善につなげていかなければならない。何が肝かというと、誰が何をやるか、それを計画の中にきちんと決めてそしてフィードバックする。それは我々の組織だけでなく、どの組織でも大事なことだと思います。うちの会を見ていると、個性豊かな優秀な方が沢山いるわけです。そういう方達の力をどうやって結集して行けばいいかと考えています。会員の方達は、何かお願いされたらぜひ引き受けてほしいですね。うちの会は、集団としてはすごい集団だと思います。再来年の１月には創立６０周年を迎えますし、皆で力を合わせて会を盛り上げて行きたいと思います。

○会員紹介

丸山 二三子様

当会で活躍している会員をご紹介させていただきます。今回は、丸山二三子さんです。（横浜市緑区在住）

入会したのは 12 年前。発明に興味を持つようになったきっかけは、叔父が「リンゴの袋の自動とめ金機」で特許を取得したことだそうです。それから自分でも特許について勉強し、折りたたみ傘の「傘袋の製造方法」で特許を取得されました。丸山さんがこれまでに権利化をしたアイデア作品は、「おしゃれポンチョ」、「ふるふる」（ケーキ作り用の粉ふるい）、「手袋キーパー」（紛失防止グッズ）、「針押し」（裁縫グッズ）、「ちょこっとテント」等々、枚挙に暇がありません。

丸山さんは他の発明団体にもよく出向き、発明家の友人が大勢います。そのうちの何人かは、丸山さんの紹介で当会に入会されました。「友人は宝です」と丸山さんは繰り返し言われます。

会に対する希望は、「発明教室に参加して楽しかった、良かったと思える会であること」と教室の参加者がお互いに情報交換をするなど、コミュニケーションのとれる場と時間があればとのことでした。

近況を伺うと、男性用日傘（「サラリーマンの木陰」、商標登録済）を制作中だそうです。日傘といっても雨天にも使えて、軽量で一年中携帯できるグッズとのこと。また、当会の男性会員に３Ｄプリンターですばらしい考案をしていただいたことを大変感謝されていました。世話好きで会員の信頼が厚い丸山さんのますますのご活躍をお祈りします。

ちょこっとテント

私のアイデア生活のスタート

木村 壯太

幼少の頃からアイデア、発明に非常に関心はありましたが、なかなか関わる機会がなく人生を五十年以上使ってしまっていました。ただこのまま自身の思い付いたアイデアを、オーバーに言えば世間の皆様に役立つものなのかそうでないのか、確認するチャレンジをすることもなく、このまま人生を終えてしまうのかと思うと（ここまで大上段に構えないと重すぎる腰が動かない)、それではいけないと思い、清水の舞台から飛び降りるくらいの気持ちで発明業界の門戸を叩きました。まず有難いことに最初にご縁のあった横浜発明振興会様の理事である樋田先生の勧めで当会に入会させて頂きました。そこで発明分野において実績のある方たちを始めとする様々なアイデアを持つ方々のお考えに触れ、今後発明のことを進めていく上で非常に参考になり助かっております。また、お陰様で私の最初の作品である「BBQ 食材落下防止保護具（特許出願済)」は、当会の発明教室で「最優秀賞」を頂く事が出来、更に発明学会様の数多くの優秀な作品の中から「身近なヒント発明展」に出展させて頂く事が出来ました。本当に非常にうれしかったです。これからの課題はこの喜びを胸にこの作品を速やかに商業ベースに乗せることです。言葉にするのは簡単ですが、これが私には大変難しく苦戦しております。ただ自分としてはそれでも諦めずに日々「これからが大事」という気持ちを持ち続け、一歩ずつでも着実に製品化を進めていきたいと考えています。また、前出の作品以外にもいくつか特許出願済の作品があり、益々これから製品化するための努力が必要になりますが、これからが大事の精神で少しずつでも着実にやっていきたいと思っております。

私の発明活動の基本理念

石井 榮

今年は、正月早々に台風パブークが発生し何やら落下防止不吉な予兆を感じましたが、2 月には台風 2 号が「猛烈な勢力」になり、4 月に北海道で夏日の観測、6 月には梅雨前線と低気圧の影響で、九州地方では長期間に亘る大雨による土砂災害や川の堤防の決壊等による多くの住宅で浸水や半壊などの被害が発生しました。夏になると前半が活発な梅雨前線のため降水量が多く、日照時間は少なく、奇形果の発生や農作物の不作と野菜の高騰が顕著で、現在の動植物の生態と自然現象が不即不離の関係にあることを如実に示すものと再認識させられました。

一方、夏の中盤からは大雨や異常な猛暑と相次ぐ巨大台風の襲来により、インフラ全般に甚大な被害を受けた地域も相当数あり、辟易させられました。特に 9 月に千葉市付近に上陸した過去最強クラスの台風 15 号は、東京湾沿岸部の各地に記録的な暴風雨と河川の決壊や氾濫などで人命や家屋やインフラに甚大な被害をもたらし、さらに台風 19 号が追い打ちをかけて交通機関などが麻痺するなど、未だにその後遺症から脱することができません。

上述のように一見私たちの会の活動とは直接関係のない気象等に関して縷々と述べてきたのは、私たちの発明活動も決して地球における様々な現象の埒外にあるわけではなく、逆に私たちのすべての活動を含め身の回りの森羅万象は、相互に密接に関連していることを再認識し、環境にできるだけ負荷をかけることなく、巨視的に物事を見、対応していくことの必要性を痛感したからです。そこで、私は、自らの発明・考案活動を以下に掲げる理念を愚直に貫いていきたいと思います。

① 環境に負荷をかけないこと
② 表面的な珍奇さに惑わされないこと
③ 安全・安心・安価であること
④ 可能な限り自然素材を活用すること
⑤ 廃棄物の有効活用を図ること

例年ですと、10 月はイベントが目白押しですが、今年は台風到来でハローヨコハマ 2019 同時開催のなか区民活動センターまつりが中止、品川区大崎ゆめ桟橋 3 日間も土、日が中止、小雨の中、14 日のみ出展縮小での開催となりましたが清水さん婦人発明家仲間の出展は諦められました。唯一、首題の第 23 回身近なヒント発明展、展示即売会は、初日の金曜日と台風が去った日曜日、おのおの半日だけの開催となり、見学に行きましたのでご報告いたします。北は北海道、南は沖縄、全国から 800 数十件生活用品を中心に健康・介護・文具・玩具・繊維等 10 部門の応募作品全部、参加各社共、事前の下調べによる作品の洗い出し、協賛企業 30 社からの気になる作品についての事務局への質問や、全体での評価意見交換等が行われ、全体共通の基準ポイントを確認し、最終順位決定にまわる「入賞候補 100 作品」の選出、入賞順位の最終結果は、展示会での一般入場者による人気投票結果を待って、併せて検討されることになります。
今回、当会、会員理事の小林芳人氏「手間無し長持ち一輪花」、世田谷在住の木村壮太氏「BBQ 食材の落下防止保護具」の 2 作品が入選 101 に選ばれました。
よかったですね!! おめでとうございます。
二次審査にて各賞が決まります。表彰式は 12 月 15 日の日曜発明教室にて行われます。
期待いたしましょう!!
なお、このコンクールに参加された作品につきましては入選結果に拘わらず協賛企業各社毎の「商品化」対象として継続されます。

○展示会情報

① 第 22 回産業交流展 2019

中小企業による国内最大級のトレンドショー
発明学会会員の作品が出展されます。
昨年は、大久保チエさんの「マグネットキャッチけん玉」、飛び入りで清水さんの「袖スルリ」も展示されていました。

開催日:11 月 13 日(水)～11 月 15 日(金)
開催時間: 10 時～18 時
利用施設: 青海 A,B ホール(臨海高速鉄道東京テレポート駅下車が便利です。)
料金: 無料

②HOSPEX Japan2019

病院・福祉設備機器・介護/福祉/給食/機器開発/サウンド/災害対応/AI・IoT
開催日:11 月 20 日(水)～11 月 22 日(金)
開催時間: 10 時～17 時
利用施設: 東京ビッグサイト西 1・2 ホール
料金:3000 円(事前登録 無料)

③第 2 回鳥獣対策・利活用展

農作物の鳥獣被害対策とジビエ活用技術が一堂に会する専門展示会。
開催日: 11 月 20 日(水)～11 月 22 日(金)
開催時間: 10 時～17 時
利用施設: 東京ビッグサイト西 3・4 ホール
料金: 無料

④IFFT/インテリアライフスタイルリビング

アジアの中心東京から、半年先のインテリアデザイン市場を共創する国際見本市。
開催日: 11 月 20 日(水)～11 月 22 日(金)
開催時間: 10 時～17 時
利用施設: 東京ビッグサイト南 1～4 ホール
料金: 2,000 円(事前登録 無料)

○事務局だより

10 月の発明教室は、台風 19 号の関東直撃のため、やむなく中止となりました。10 月に予定していました講演等は今月の教室で行ないます。大勢のご出席をお待ちしています。

・事務局担当

曜 日	担当者	曜 日	担当者
月	( )	木	( )
火	山岸 隆	金	( )
水	石井 栄	土	小峰 一男

来訪の時は、電話にて駐在確認をお願いします。
ＦＡＸまたはメールも ご利用ください。
事務所 TEL/FAX： ０４５－６６４－９０７０
E-ﾒｰﾙ：info@yokohama-hatsumei.com

ハマ発明 NPO 法人 横浜発明振興会
〒231-0016 横浜市中区真砂町３－３３ セルテ１１階
よこはま市民共同オフィス内
TEL/FAX 045-664-9070